

# 監査結果報告

四市複合事務組合監査基準に準拠し、令和6年度定期監査を次のとおり実施した。

## 第1 監査の種類

地方自治法第292条において準用する

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づく財務監査（定期監査）

地方自治法第199条第2項の規定に基づく行政監査

## 第2 監査の対象

特別養護老人ホーム三山園（事務局予算執行含む）

## 第3 監査の範囲

令和6年4月1日から同年8月31日までの間の財務に関する事務等の執行について（必要に応じてこの期間以外のものについても範囲とした。）

## 第4 監査を実施した監査委員

栗林 紀子

針貝 和幸

## 第5 監査の着眼点

①予算の執行状況、②現金等取扱状況、③書類等の整理状況、④財産管理状況等について、合規性を主眼に、次の表にあるリスク評価の主な着眼点について調査を行い、さらに対象機関の重点確認項目を設定し監査を実施した。

調査項目	想定されるリスク	主な着眼点
1 予算の執行状況		
歳入事務	不適正な歳入事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調定の手続きは適正に行われているか。</li> <li>・ 債権の管理（督促、催告及び時効中断手続等）は適正に行われているか。</li> </ul>
歳出事務	不適正な前渡資金の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現金の保管は適切か。</li> <li>・ 管理が特定の職員のみによって行われていないか。</li> </ul>
契約事務	不適正な委託契約（手続き及び管理）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設計書、仕様書は適正に作成されているか。</li> <li>・ 委託した業務が適正に行われているか。</li> <li>・ 分割発注は行われていないか。</li> <li>・ 随意契約の場合、理由は適正か。</li> </ul>
2 現金等取扱状況	不適正な現金の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現金受領は複数人で確認しているか。</li> <li>・ 受領した現金の金融機関への払い込みは適正に行われているか。</li> </ul>
3 書類等の整理状況	不適正な公印の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公印の保管及び使用は適正か。</li> </ul>
	不適正な文書処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文書処理は適正に行われているか。</li> <li>・ 決裁区分に誤りはないか。</li> </ul>
4 財産管理状況	不適正な財産管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台帳は適正に整備されているか。また、取得処分等の手続きは適正に行われているか。</li> <li>・ 物品が適正に維持管理されているか。</li> <li>・ 施設の維持管理及び補修は適正に行われているか。</li> </ul>
5 その他	不適正な個人情報の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人情報等の漏洩を防ぐ対策は講じられているか。</li> <li>・ 保管庫等の鍵等の管理は適切に行われているか。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務フロー、チェックリスト等は作成されているか。また、業務は事務フロー等に基づき行われているか。</li> </ul>

## 第6 監査の実施内容

令和6年10月1日から同年12月24日まで、特別養護老人ホーム三山園等において、監査書類について調査確認するとともに、現地調査を行い、併せて関係職員から事情聴取を実施した。

## 第7 監査の結果

前記のとおり監査した限りにおいて、監査の対象となった事務が法令に適合し、正確に行われていると認められた。

なお、令和7年4月1日の特別養護老人ホーム三山園の移譲に際しては、移譲先法人と引き続き十分協議し、遺漏のないよう進められたい。